

令和４年度事業報告

(自 令和４年４月１日 ～ 至 令和５年３月３１日)

1. 会務報告

1-1 会員の状況

会員種別	令和4年3月31日		入 会 数		退 会 数		令和5年3月31日	
	会員数	口 数	会員数	口 数	会員数	口 数	会員数	口 数
個人正会員	94	94	4	4	8	8	90	90
法人正会員	50	60	0	0	1	1	49	59
名誉会員	82	—	4	—	4	—	82	—
計	226	154	8	4	13	9	221	149

1-2 会議の開催

(1) 総 会

令和４年度定時総会は、令和４年５月３１日（火）１０時３０分から新型コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小して建築研究振興協会会議室にて、委任状及び議決権行使書を含め８９正会員が出席又は出席とみなされ開催された。

令和３年度事業報告及び同収支決算報告の報告がなされ、令和３年度収支決算報告が承認された。次に、令和４年度事業計画及び同収支予算の報告がなされた。

また名誉会員の推薦についても原案どおり承認された。続いて役員の一部改選があり、次のとおり可決決定した。

理 事

辞任（２名）	加藤 茂	福田 孝晴
新任（２名）	佐藤 研一	利穂 吉彦

(2) 理事会

令和４年度の理事会は、次のとおり５回開催された。なお、第１８８回理事会は新型コロナウイルス感染症拡大の予防対策として、書面決議とした。

① 第１８７回理事会（令和４年５月９日（月）Web会議）

（議事内容）

- イ 会員の入会の承認及び退会の報告
- ロ 令和３年度事業報告の承認
- ハ 令和３年度収支決算の承認
 - ・ 令和３年度収支決算報告の承認
 - ・ 独立監査人による監査報告
 - ・ 監事による事業報告・計算書類の監査報告書

- ニ 名誉会員の推薦案の承認について
 - ホ 令和4年度定時総会を書面決議とする承認
 - へ 令和4年度定時総会議案
 - ト 役員の選任及び顧問の推薦
- ② 第188回理事会（令和4年5月31日（火）書面決議）
（議事内容）
- イ 専務理事の選定
- ③ 第189回理事会（令和4年10月28日（金）Web・対面会議）
（議事内容）
- イ 会員の入会の承認及び退会の報告
 - ロ 一般経過報告
- ④ 第190回理事会（令和5年1月26日（木）Web・対面会議）
（議事内容）
- イ 会員の入会の承認及び退会の報告
 - ロ 一般経過報告
 - ハ 令和5年度事業計画・収支予算の方針（令和5年度事業収支改善計画）の承認
- ⑤ 第191回理事会（令和5年3月30日（木）Web・対面会議）
（議事内容）
- イ 会員の入会の承認及び退会の報告
 - ロ 一般経過報告
 - ハ 令和5年度事業計画及び収支予算の承認
 - ニ 優秀若手構造研究者表彰（コンクリート系）選考結果
 - ホ 名誉会員の推薦

(3) 監事監査

令和4年度の監事監査は、次のとおり実施された。

- ① 令和4年4月27日（水）
小山、須田両監事により令和3年度事業・決算の監査が実施された。
- ② 令和4年10月25日（火）
小山、須田両監事により令和4年度上半期中間監査が実施された。

(4) 会計監査

令和4年度の会計監査は、次のとおり実施された。

- ① 令和4年4月1日（金）
西村公認会計士、峯尾税理士により令和3年度下半期監査が実施された。
- ② 令和4年4月19日（火）
西村公認会計士、峯尾税理士により令和3年度決算監査が実施された。
- ③ 令和4年10月11日（火）
西村公認会計士、峯尾税理士により令和4年度上半期中間監査が実施された。
- ④ 令和4年12月16日（金）
西村公認会計士、峯尾税理士により令和4年度上半期中間監査追加が実施された。

(5) 運営委員会

令和4年度の運営委員会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、Web会議とし、令和5年2月20日（月）に開催した。

(議事内容)

- イ 名誉会員の推薦
- ロ 一般経過報告
- ハ 優秀若手構造研究者表彰(コンクリート系)選考結果

(6) 建築の研究編集委員会

令和4年度の「建築の研究」編集委員会は、下記の日程で3回開催され、機関誌「建築の研究」の原稿依頼、編集等について検討した。

- ① 令和4年 7月28日(木)
- ② 令和4年11月28日(月)
- ③ 令和5年 3月30日(木)

2. 業務報告

2-1 広報普及事業

(1) 機関誌「建築の研究」の刊行

機関誌「建築の研究」を、令和4年度は260号から263号の4冊を発刊し、会員等に建築の最新情報等を提供した。

また、機関誌「建築の研究」の年間購読・過去のバックナンバーの有料領布を令和4年9月から開始した。

(2) ホームページの運営

協会が開設するホームページ (<http://www.kksk.or.jp>) を維持・更新し、各種情報を発信した。

(3) 建築研究に関する資料の提供

令和4年度は、以下の3点を新規に刊行し、法人正会員に配布するほか、一般に実費頒布した。

- ① 建築研究資料 第205号(CD版)
水平力を受ける組積造壁の強度と変形-既存の実験データの分析
- ② 建築研究報告 第150号(CD版)
応答スペクトルに基づく建築物の安全限界時応答評価と現行基準に関する研究
- ③ 建築研究報告 第151号(CD版)
地盤の増幅特性を考慮した鉄骨建築物の耐震性能に関する研究

国立研究開発法人建築研究所では、建築研究報告・建築研究資料等の冊子配布を取り止め、建築研究所ホームページで公開することとなった。

当協会としてもこれらの資料について、令和4年7月以降印刷物およびCDでの配布を取り止め、法人正会員に対し、建築研究所年報・建築研究報告・建築研究資料等の公開情報をメールで発信することとした。

法人正会員に対し、公開情報をメールで発信した。

- ④ 建築研究所年報
第56号 国立研究開発法人建築研究所年報 令和3年度
- ⑤ 建築研究報告 第152号

建築物の耐火設計における火災リスク基盤の火災荷重の設定方法

- ⑥ 建築研究報告 第 153 号
建築物の浸水対策案の試設計に基づく その費用対策効果に関する研究
- ⑦ 建築研究報告 第 154 号
リスク基礎の避難安全検証法に関する研究

(4) 優秀若手構造研究者表彰

令和 3 年度優秀若手構造研究者表彰（コンクリート系）表彰式は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

令和 4 年度は、①令和 4 年度「優秀若手構造研究者表彰（コンクリート系・卒業論文）」及び②令和 4 年度「優秀若手構造研究者表彰（コンクリート系）」（博士前期課程対象）に区分して応募を行い、それぞれ① 3 名、② 3 名、合計 6 名の応募者があり、6 名全員の受賞が決まった。

2-2 調査研究事業

- (1) 海外機関 RILEM 及び、国内関係団体の会員として活動し、情報の収集に努めた。
- (2) 国際会議での論文発表等国際交流活動を行う研究者に対する助成の募集を行ったが令和 4 年度の申請はなかった。

2-3 出版事業

- (1) 「既存建築物の耐震診断・耐震補強設計マニュアル 2018」の販売
2018 年度に発行した「既存建築物の耐震診断・耐震補強設計マニュアル 2018」を引き続き販売した。

2-4 受託による調査研究事業

令和 4 年度は、6 件の受託研究を実施した。
そのテーマ別件数は、以下のとおりである。

- (1) 建築材料に関する調査・研究 1 件
- (2) 工法・施工技術に関する調査・研究 1 件
- (3) 構造・地震動に関する調査・研究 1 件
- (4) 都市・住宅・環境に関する調査・研究 3 件
- 計 6 件

また、委託者属性別件数は、以下のとおりである。

- (1) 国・地方公共団体 2 件
- (2) 公益法人等 1 件
- (3) 民間企業 3 件
- 計 6 件

2-5 建物調査診断事業

令和 4 年度は、45 件の建物調査診断事業を実施した。

- (1) 既存建築物の調査・診断 3 件
- (2) 建物不具合等に関する調査・評価 3 4 件
- (3) 耐震診断、耐震補強設計・工事監理 3 件
- (4) 外部の設計事務所が行った耐震診断、耐震補強設計の評定 3 件
- (5) 他団体における任意評価取得補助 2 件
- 計 4 5 件

委託者属性別件数は、以下のとおりである。

(1) 国・地方公共団体	10件
(2) 公益法人等	0件
(3) 民間企業	35件
	計45件

2-6 材料検査事業

令和4年度は、戸田試験所のJNLA登録を維持しつつ、試験を実施した。

(1) コンクリートの圧縮強度試験	11,622件
(1)の内、採取と試験を一括で請負ったものの圧縮強度試験	1,186件
(2) 鉄筋の引張強度試験	1,145件
(3) コンクリートコアの圧縮強度試験	1,878本
(4) 小径コアの圧縮強度試験	74本
(5) コンクリートコア・小径コアの中酸化深さ測定	1,768本
(6) 硬化コンクリートの塩化物含有量等分析試験	21件
(7) その他（モルタル等の圧縮強度試験）	3,220本

※JNLA：産業標準化法試験事業者登録制度（(独)製品評価技術基盤機構）

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、附属明細書を作成しない。